

水辺のふるさと かつしか

2025.12 ~ 2026.2

自然環境レポーター通信



写真のタイトル： 雪が降りました
撮影場所： 柴又 4-21 写真提供： 瑛ちゃん

目次

1. 55種の動植物調査結果 P 2～5
2. 自由レポート P 6～13
3. 季節の写真集 P 14～17
4. 魚からの便り P 18～21
5. 環境課からのお知らせ P 22～24

担当編集の ひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の山田と申します。

令和8年1月25日に、水元公園グリーンプラザで自然環境レポーター研修会を開催しました。

晴れている中、カワセミやダイサギなどの鳥や、モミジバフウやホトケノザなどの植物を見ることができました。

今回の研修会で印象に残っていることは、ハシブトガラスとハシボンガラスは鳴き声でも判別できるというお話です。私は判別することができませんでしたが、ハシブトガラスは「かーかー」、ハシボンガラスは「がーがー」と鳴くそうです。比較対象がないと難しいですが、皆さまも鳴き声が聞こえたら、ぜひ聞いてみてください。

次回も、皆さまのご参加お待ちしております。

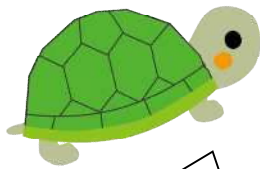
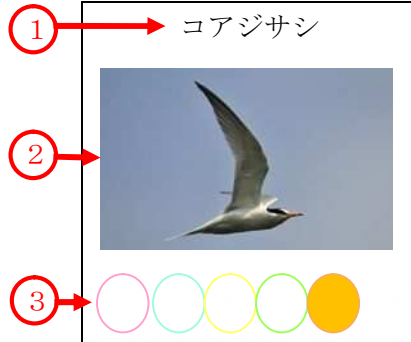
暖くなるのを待っていた動植物たちが顔を出す季節が近づいてきました。観察もしやすくなると思いますが、季節の変わり目は体調を崩しやすいといわれていますので、引き続き体調にはお気をつけて観察をお願いします。

環境課自然環境係 山田

55種の動植物 調査結果（12～2月）

























































































































【次ページの見方】

- ① 名前（赤字は外来種）
- ② 写真
- ③ 発見された調査区
（調査区ごとの色で塗り潰し）









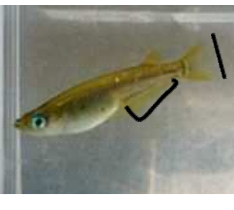








在来種のコアジサシが
調査区5で発見されたと
分かるね！



<p>コアジサシ</p>  <p>    </p>	<p>ウグイス</p>  <p>    </p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p>    </p>	<p>トノサマバッタ</p>  <p>    </p>
<p>ツバメ</p>  <p>    </p>	<p>コサギ</p>  <p>    </p>	<p>アキアカネ</p>  <p>    </p>	<p>クマゼミ</p>  <p>    </p>
<p>オオヨシキリ</p>  <p>    </p>	<p>カワセミ</p>  <p>    </p>	<p>オオカマキリ</p>  <p>    </p>	<p>アブラゼミ</p>  <p>    </p>
<p>コガモ</p>  <p>    </p>	<p>コゲラ</p>  <p>    </p>	<p>エンマコオロギ</p>  <p>    </p>	<p>ツクツクボウシ</p>  <p>    </p>
<p>ツグミ</p>  <p>    </p>	<p>シジュウカラ</p>  <p>    </p>	<p>カンタン</p>  <p>    </p>	<p>ミンミンゼミ</p>  <p>    </p>

<p>ニイニイゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>テングチョウ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ナガミヒナゲシ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>セリ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ヤマトタマムシ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ツマグロヒョウモン</p>  <p>←雄 雌→</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>シロツメクサ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>オオバコ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>
<p>ナガサキアゲハ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>アカボシゴマダラ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>スズメノエンドウ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>オオキンケイギク</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>クロアゲハ</p>  <p>←表 裏→</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>アカメガシワ</p>  <p>○ ● ○ ● ○</p>	<p>イモカタバミ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>カントウヨメナ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>
<p>ナミアゲハ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>スギナ</p>  <p>ツクシ ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>アレチウリ</p>  <p>果実 ↓</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>カントウタンポポ</p>  <p>反り返らない→</p> <p>○ ○ ○ ○ ●</p>

<p>ツユクサ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>ミシシippアカミミガメ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>コガネグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ジュズダマ</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>ニホンカナヘビ</p>  <p>○ ● ○ ○ ○</p>	<p>ジョロウグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ススキ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアマガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>メダカ</p>  <p>←カダヤシメダカの特徴に注意</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>アライグマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアカガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ブルーギル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ハクビシン</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ウシガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ベンケイガニ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>

水辺のふるさと葛飾

自然観察レポート

水元公園の冬鳥たち

2025年12月～2026年2月

石戸雅彦 調査区3



オカヨシガモの♂♀



田んぼで餌を探すタシギの群れ



カンムリカイツブリ



ハシビロガモ ♂



バン



カワセミ

水辺のふるさと葛飾

自然観察レポート
水元公園の冬鳥たち

2025年12月～2026年2月

石戸雅彦 調査区3



アカハラ



モズ ♂



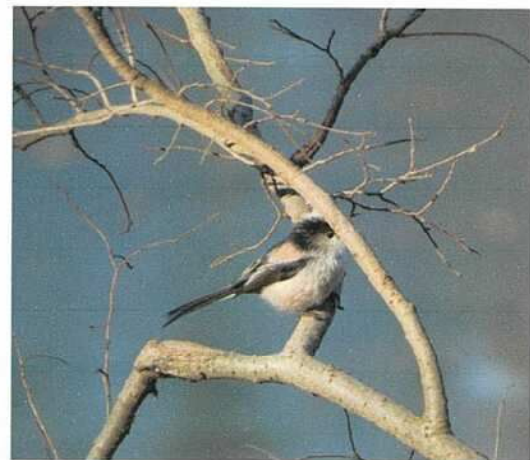
アオジ



ルリビタキ ♀



マヒワ



エナガ

ヤモリの冬の過ごし方

調査区3 神山 隆敬

令和7年12月9日、朝6:10頃、まだ日が昇ることも無く、暗い頃、毎朝、『亀有香取神社』に参拝して、一日を迎える私ですが、丁度、この時に『亀有香取神社』の『道祖神』の所に**ヤモリ**を見つけました。12月なので私も驚き、スマホを準備しましたが、『道祖神』の中に入ってしまい、『季節の写真集』への写真が撮れませんでした。先日、『水元公園での観察会』において『水辺のふるさとかつしか』の中身の重要性を耳にして、ここに書かせて頂きます。

結構寒い時に、**ヤモリ**が普通にいて、「あれ、**ヤモリ**は冬眠しないのか？」と思い Google で、当たってみると、「冬眠する説」と「冬眠しない説」と、どちらも出てきて迷ってしまったので、『上野動物園の爬虫両生類館』の方に聞いてみると…

ニホンヤモリはもともと、日本より若干、南の中国、台湾に住んでいて、日本のトカゲ、カナヘビのように冬眠することが無く、寒さの中でなるべく、ジッとして冬を越し、日本に来たのが平安時代かその前ではっきりとはわからないことですが、純日本の山の奥に暮らす動物ではないので冬眠と言う事はしなくても、今も人間のそばで

生きているとのことでした。

今回、**ニホシヤモリ**と偶然に出逢って、カナヘビ達と同じ様に見ていた事から亀有香取神社の**ニホシヤモリ**の特別感が出来た事に感謝しています。

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5 - 2 8
-------	--------	-------------

【2025 年 12 月】

水元公園の噴水の近くのヒサカキは、花の咲いている枝と実のなっている枝とあり、花と実がいっしょに見られました。ヒサカキの花は通常、8~9月に咲くそうなので、狂い咲きのようです。

水辺のさとのあたりでは、モズのはやにえが落ちていました。

朽ちた木をどけると、キセルガイが集まっていた。キセルガイは初めて見ました。



12/6 水元公園
ヒサカキ (花)



12/6 水元公園
ヒサカキ (実)



12/21 水元公園
モズのはやにえ



12/21 水元公園
キセルガイ

【2026 年 1 月】

フウセントウワタも花と実と両方見られました。フウセントウワタの花は2月末~4月だそうですので、大分早く咲いたようです。

1月は、花も少なかったので、葉痕を観察してみました。よく見かける、ユズリハとヒイラギモクセイです。葉痕は小さかったり、木の高いところだったりしてなかなか観察、写真撮影が難しいです。また、せっかく綺麗に撮れたのに、葉がないので、何の木かわからなかった、ということもありました。



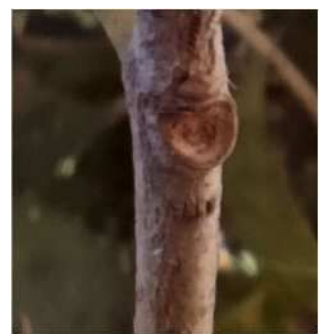
1/19 南水元
フウセントウワタ (花)



1/19 南水元
フウセントウワタ (実)



1/29 南水元
ユズリハ



1/29 南水元
ヒイラギモクセイ

【2026年2月】

2/15に都立水元公園の水辺のさとの市民参加推進会で行ったバイオネストの作成に参加しました。バイオネストとは、剪定した木の枝や葉などを丸く積み上げ、鳥の巣のような形にしたものです。木や落葉を土に循環させると共に微生物や昆虫、小動物の隠れ家にもなります。

水辺のさとに自然に生えてはびこっている木を伐採したものを集めて、太めの枝を丸く積み上げたあと、中に細かい木の枝や葉などを積み上げました。左の写真が、太めの枝を丸く積み上げたときの写真です。その後、丸く積んだ中に小枝や葉を沢山積み上げました。右の写真はその一週間後です。積み上げた直後はうずたかくなっていたのですが、一週間後はしおれて真ん中がへこんでいました。



左の2枚：枝を丸く積み上げたところ（2/4）

右：中に木の枝等を入れたところ（2/22）

2月も花が少なかったので、冬らしいものを探しました。サルスベリのカラは、水辺のさとに落ちていました。お花の工作みたいでかわいかったです。

アオダモの幹には面白い模様が出来ていました。

水鳥の足跡は、水辺のさとの中の水の干上がったところにありました。鴨のようです。

最後に春らしい写真を一枚、フラサバソウをアップで撮ってみました。細かい毛がぼわぼわしていました。



2/15 水元公園
サルスベリの実のカラ



2/7 水元公園
アオダモ（幹の模様）



2/7 水元公園
水鳥の足跡



2/7 水元公園
フラサバソウ

以上

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)					
鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和7年 12月・8年1月・2月)				

種類	12月	1月	2月	種類	12月	1月	2月
セイヨウタンポポ	0	0	0	アオサギ	1	1	1
ツユクサシロツメ	0	0	0	コサギ	1	1	1
蝶類	0	0	0	カモ類	300以上	多数	多数
				ユリカモメ	10	不明	不明

昆虫情報

観察日が少ないから正確ではないが、まったく見られなかった。

野鳥情報

カモ類は溜池に多数いたが、昨年頃からユリカモメは少ない。

植物情報

快晴の天気続きのせいか冬とは思えない鮮やかな花に多く出会う。

① 12月はスイセンがみごろになってきた。

この花は「室町時代には雪中花」といわれていたという。

種類は和と洋、花も小輪～大輪とさまざま。最近公園の土手や路地などにも見られ、繁殖力は強いようだ。

② 1月下旬、道路わきに鮮やかな花々

③ 2月8日

昨日から雪が降り、木々に積もった。果物が実っている景色は雪国では見られないと思う。



2月15日近所を散策中、思いがけない満開の梅に出会う。乾燥していた土に雪の水分が潤いをもたらしたのだろうか、花はいきいきしていた。



④ 水元公園の菖蒲田の土手に一輪のタンポポを見つけた。昨年の報告書にも「日陰は枯れ草だが日当の良い駐車場になんとカントウタンポポ1個を発見した」とあった。開花時期が変化しようとしているのか興味深い。



場所	日付	花数
東金町5丁目	3/19	二輪
南水元	3/20	一輪
水元公園	3/15	1
金町6丁目	3/20	三輪
東金町6丁目	3/25	二輪

地域猫情報

冬になってから、近所の猫は空き家の床下や車庫にもぐっているが、ため池周囲では猫に会えないでいた。「これ、もしかしたら猫じゃ？」木の切り株に面白いものを見つけ、黒い○をいれてしまいました。



季節の写真集 (12~2月)



「お花茶屋公園」
R 1.6 お花茶屋



「コサギさん」
R 2.15 怪無池

季節の写真集 (12~2月)



キタキチョウ
むしあお 12.30 水元公園

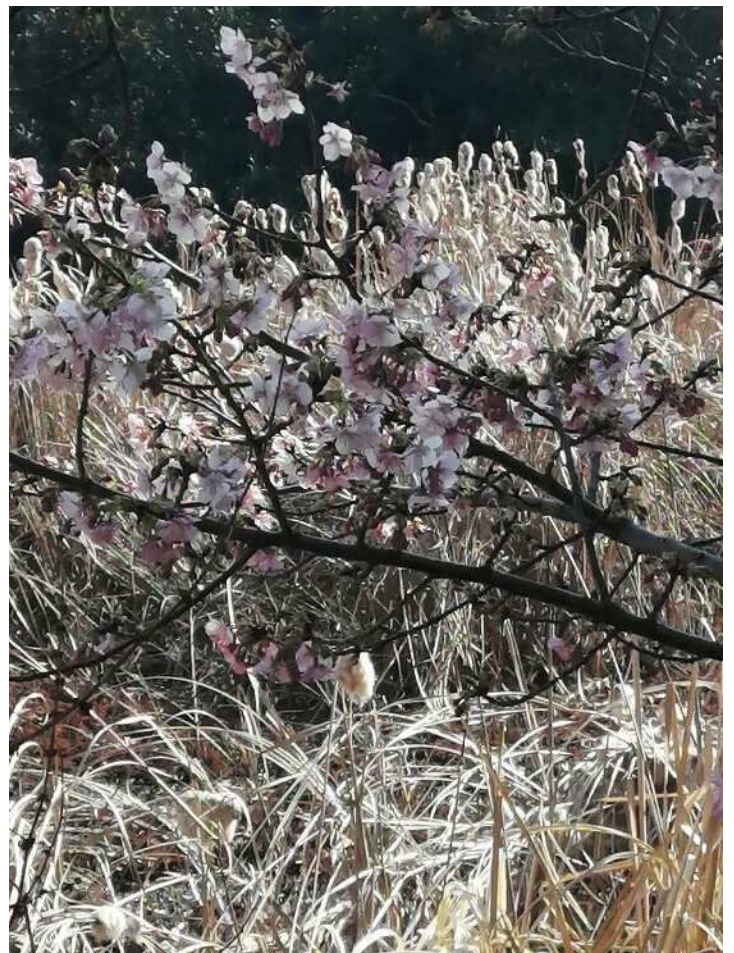
ツヤアオカメムシ
むしあお 12.30 水元公園



季節の写真集 (12~2月)



「冬の空」
Ryu 2.3 立石



「桜咲く」
Ryu 2.15 怪無池

季節の写真集 (12~2月)



「今日もいい眺めだな」 カワウ
瑛ちゃん 12.9 柴又江戸川4-21



「アロエとわたし」 メジロ
瑛ちゃん 1.25 新宿4-22



「雪が降りました」 河津桜
瑛ちゃん 2.8 柴又4-21

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-341

調査回数 調査日 地点		343			備 考
		2025/12/6			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	1 57			
2	カ ダ ヤ シ		49 16-43		特定外来生物
3	カ マ ツ カ	2 73-80			
4	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 31			
5	スゴモロコ属雑種	43 37-84			スゴモロコと デメモロコの 雑種
6	ス ミ ウ キ ゴ リ		2 58-64		
7	タイリクバラタナゴ		13 17-29		
8	ニ ゴ イ	1 159			
9	ヌ マ チ チ ブ	17 15-58			
10	ハ ス	3 80-140			
11	ボ ラ	17 178-287			
12	メ ダ カ		60 16-33		
計		8種類85個体	4種類124個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて12種類209個体の魚類が採集されました。（ワンドは採集できず）
- ・ 晴れ後曇り、気温12.7℃、水温 本流10.3℃、新八水路9.3℃（14時頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.30m (12:00)1.31m (14:00)1.33m

【参加者コメント】

- ・ 新八水路に、春の増水時に入り込んだと思われるウキゴリが、成熟した色になっていました。水路は、周囲からの土砂の流入により、普段は川と接続しない、小さな池状になっているため、あまり大きくならないまま成熟したと思われます。本流や周りに、両わきに穴の開いたオニグルミの殻がいっぱい落ちていました。姿を見たことはないものの、穴の開け方からすると、アカネズミ？オオバンが、沖で一日中、潜ったり出たりを繰り返して、江戸川はあまり流れがないのに、昔から、藻の切れた葉や根付きの漂着が多いのは、彼らの仕業かもしれないと思いました。(KI)
- ・ 本流ではスゴモロコ属の雑種がたくさん採れた。スゴモロコ属は全部雑種になったのか？ワンドに水が全くない。本流の水位が低下すると、毎回こうになってしまうか心配だ。(SI)

【今後の調査日】

2026年 1月31日(土) 2月28日(土) 3月20日(金・祝日) 4月5日(日)
HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-342

調査次数		344			備 考
調査日		2026/1/31			
地点		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	2 28-30			
2	カ ダ ヤ シ		36 17-35		特定外来生物
3	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 43			
4	タイリクバラタナゴ		5 17-28		
5	ニ ゴ イ	1 168			
6	ヌ マ チ チ ブ	5 42-56			
7	ハ ス	1 82			
8	メ ダ カ		26 16-34		
計		5種類10個体	3種類67個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて8種類77個体の魚類が採集されました。（ワンドは採集できず）
- ・ 晴れ、気温9.8℃、水温 本流6.4℃、新八水路8.5℃（15時頃測定）
- 「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
（10:00）1.44m（12:00）1.46m（14:00）1.46m

【参加者コメント】

- ・ 午前中は、河川敷で開かれている凧揚げ大会に、あつらえむきの凧が吹いていました。今年は、凧が落ちて生物に糸が絡むのを心配なくていい凧向きでした。冬の恒例、水は澄んでいるのに底質が悪く、魚が取れる気がしません。低水温で分解が遅いことに加え、流れがないためか。誰かが落としたりしいタモ網を回収しました。(KI)
- ・ カダヤシがなかなか採れた。日本の冬を越せる外来種は定着につながることを実感した。(IS)
- ・ 翌週から水路の泥の浚渫を行う業者の責任者と、作業の内容や手順について打ち合わせをした。その結果、作業日前日に水路の魚を調査団が救出し、浚渫後の水路に戻すことになった。泥が堆積していない水路を、本流に近いところから奥に向かってタモ網で採取していくことができるなんて、想像するだけでワクワクする。(SI)

【今後の調査日】 2月28日(土) 3月20日(金・祝日) 4月5日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-343

調査次数 調査日 地点		345			備 考
		2026/2/28			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	1	3		
		112	24-31		
2	コ ク チ バ ス	1			特定外来生物
		105			
3	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1			
		31			
4	スゴモロコ属雑種	1			
		71			
5	タイリクバラタナゴ		1		
			17		
6	ヌ マ チ チ ブ	4			
		51-59			
7	ボ ラ	20	1		
		31-36	35		
8	メ ダ カ		1		
			29		
9	モ ツ ゴ		1		
			46		
計		6種類28個体	5種類7個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて9種類35個体の魚類が採集されました。（ワンドは採集できず）
- ・ 晴れ、気温21.2℃、水温 本流13.2℃、新八水路16.0℃、ワンド18.8℃（13時40分頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
（10:00）1.67m（12:00）1.68m（14:00）1.71m

【参加者コメント】

- ・ 上流側、船着場の近くを歩いていたら、つがいらしいガビチョウが、画眉がはっきり見えるほど近くまで来て、しばらく岸の枝伝いについてきました。営巣していて警戒？かわいけれど、残念ながら特定外来種。
小型のモクズガニが投網で採れました。遡上していく最中だったのか。ごめんね。
ウォーターマッシュルームという名前で販売されているものに似た水草がひとかたまり、漂着していました。根もついていたので、定着されたら困りものです。（繁殖力が非常に強く、在来種と競合する外来種のウチワゼニクサと確認されました。）
風はあったものの気温は高く、タテハの仲間らしい蝶が日だまりを飛んでいました。（KI）
- ・ 浚渫工事のおかげで、初めて水路を本流まで進むことができた。本流とつながり、いろいろな魚が水路でとれそうな気がするがどうなのだろうか。（IS）
- ・ 水路浚渫後、初めての調査だった。本流の水位が高かったため、水路の水深も40~50cmあった。採れた魚の数は少なかったが、30年前の水路復活直後と同じ状況と思えば、こんなものかと。（SI）

【今後の調査日】 3月20日（金・祝日） 4月5日（日）

HP（<http://shigenori1.jimdoweb.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

環境課からのお知らせ

★タイトルを変更してみました！★

今回の季刊誌からタイトルを少し変更してみました！

皆さまお気づきになりましたでしょうか？

以前は春・夏・秋・冬それぞれの号で発行していましたが、今回からは12～2月号の表記のみに変更することといたしました。

ご意見をくださったレポーターの皆さま、誠にありがとうございました。

改善についてのご意見はいつでもお待ちしておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

★自然環境レポーター研修会を開催しました！★

令和8年1月25日(日)、「水元公園内の生きものを観察しよう」をテーマに、都立水元公園 グリーンプラザ周辺にて冬の自然観察会を開催しました。

研修会ではまず資料や講師の方にお持ちいただいたイラストが描かれている画用紙を用いて、観察についてや55種にどのような動植物がいるのかを学びました。そのあとは、実際にグリーンプラザ周辺を歩き、観察を行い、レポーターの方々は積極的に講師の方へ質問や、見つけたものも詳細を説明しあい、全員で知識を深めることができました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

今後も研修会を開催していく予定ですので、レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。

講師の解説を受けながら観察する自然環境レポーターの皆さま



環境課からのお知らせ



★新ハ水路で魚類調査を行います★

自主生物調査団が、新ハ水路にて魚類調査を行います。調査の結果は、「魚からの便り」として水辺のふるさとかつしかに掲載しています。

【日時】 4月5日(日)
10時～16時ごろ

【場所】 江戸川河川敷 ※事前連絡をお願いします。

【持ち物】 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、HP (<https://shigenoril.jimdoweb.com/>) をご覧ください。

★自然環境調査報告書(55種以外)★

自然環境レポーターの活動には、区内で見られる55種以外の動植物についての調査報告も含まれています。ご報告いただいた中からいくつか紹介します。

〈見方〉◆動植物種名・調査月・調査場所(P2参照)・気が付いたことなど

◆オナガ・12月・調査区4

◆ヒヨドリ・12～2月・調査区2.3

◆アオサギ・1月・調査区4・中川干潮時の浅瀬で何かをついばんでいた。

◆ロウバイ・1月・調査区5・水元公園のロウバイはたくさん咲いていてとてもいい匂いがしました。樹木園のところでは。

◆オオミノガ・1月・調査区5・スイレン池のところの木にぶらさがっていました。ミノムシを見るのは久しぶり。

◆ノボロギクの花・2月・調査区2・花が咲いていた。

環境課からのお知らせ

★水元公園 カワセミ一斉調査を行います！★

水元小合溜の水質浄化事業「カムバックかわせみ作戦」により、すっかり身近になったかつての幻の鳥「カワセミ」。そんなカワセミが、水元公園に何羽カムバックしてくれたのか、みんなで調べてみませんか？

【日時】

事前説明会：4月29日（水・祝）13時～15時

※初めての方は事前説明会にもご参加ください（参加が難しい場合は要相談）。

個体数調査：5月2日（土）9時半～13時

【会場】

事前説明会：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム及び水元公園周辺
〒125-0034 葛飾区水元公園8-3号
電話 03-3627-5201

調査当日：水元公園グリーンプラザ
〒125-0034 葛飾区水元公園7-2 水元グリーンプラザ
電話 03-3627-5201

【申込方法】水元かわせみの里の電話・窓口のほか、
右のQRコードから受け付けています。



【申込期間】3月12日（木）～4月22日（水）

▲電子申請はこちら



今号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

石戸 雅彦	瑛ちゃん	江戸川の小鮒	大谷 悦子
神山 隆敬	下山田 隆	高橋 裕子	田村 ひろ子
となり	ひまわり	むしあお	ゆきひめ
K・N	R	Ryu	T・K

自主生物調査団（編集：一澤成典）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」第336号
（葛飾区 自然環境レポーター通信第288号）

令和8年3月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

代表電話 (3695)1111

直通電話 (5654)8237

FAX (5698)1538



▲区のホームページにも
掲載しています。

（URL）

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1037174.html>



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。